

「震災時の地域工務店・建設労働者が果たす役割 & 熊本地震での木造応急仮設住宅の建設」 セミナー開催のご案内

(一社)JBN・全国工務店協会、全国建設労働組合総連合の2団体は、災害時に木造応急仮設住宅の建設と復興支援のために(一社)全国木造建設事業協会(略称:全木協)を設立し、東日本大震災において木造応急仮設住宅を1,000戸以上建設すると共に、昨年4月の「熊本地震」では、563戸の木造応急仮設住宅を建設し、現在は、復興に向けて次の段階に入っております。

応急仮設住宅の建設は、各都道府県と災害協定を締結した上で対応することになりますが、全木協は、東京都と「災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定」を平成25年7月11日に締結し、発災後の木造応急仮設住宅について、東京都の要請に応じ、全木協東京都協会が中心に建設することになっており、JBN会員が中心になり対応することが想定されます。

今回は、全木協東京都協会の総会と記念講演を開催させていただきます。

東日本大震災で木造応急仮設住宅の建設と全木協で災害対策本部長を担当した福島県のエコビレッジの和田社長に災害時の地域工務店が果たす役割などについて講演して頂き、第二部では、熊本地震で木造応急仮設住宅の建設にあたり、中心的な存在として尽力した(一社)熊本工務店ネットワークの久原会長(㈱エバーフィールド社長)をお迎えして、熊本地震での対応、地域工務店として何ができるのか、なぜ木造応急仮設住宅に取り組んだのかなど、時系列を言めて、当時を振り返りながら詳細に説明して頂きます。

日本全国どこでいつ起こるか分からない災害に対し、事前に体制を整備することで、災害対応の仕方が変わってきます。今回、震災時に木造応急仮設住宅建設に関し陣頭指揮を執ったお二人による講演を通じ、地域の工務店が担う役割を再認識いただくと共に、発災後の対応に活かして頂きたく、多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

記

日 時 平成29年7月11日(火)13:30~17:00 受付 13:00~
場 所 けんせつプラザ東京 5階会議室 東京都 新宿区北新宿 1-8-16
新大久保駅より徒歩8分、大久保駅北口より徒歩3分
定 員 100名(申込み先着順) 参加費 無料
参加対象者 JBN会員 ※申込受付後、受講票をFAX致します。

参加申込書 FAX:03-5540-6679 JBN事務局坂口宛

受付№ (事務用記入)		TEL	
会社名		FAX	
参加者名	①	参加者名	③
参加者名	②	参加者名	④